

自由芸術大学開講

いま再び自由は抑圧されようとしている。自由の抑圧は戦争の準備に他ならないだろう。かつて、そのような抑圧に対抗するために、自由な芸術というものがあつた。民衆芸術、サークル文化運動、グラフィティ、パンクロック、フェミニズムアート…。私たちは今それらの自由を取り戻そうと、自由芸術大学を始める。私たちの芸術を私たちが造りだす自由を取り戻すために。

Art History Free Culture Art and Politics Lecture Workshop Reading Circle

第一回レクチャー「詩と絵画の夕べ」 民衆詩を撒く—1950年代サークル文化運動



日時：2017年3月4日(土) 19:00~21:00
場所：素人の乱 12号店 | 自由芸術大学
杉並区高円寺北3丁目8-1 2 フデノビル 2F
資料代：500円+投げ銭(ワンドリンクオーダー)

1950年代に興隆したサークル文化運動によって、戦前には定義づけることの出来なかつた「民衆」が出現した。大正期に政府の弾圧などによりその芽を摘まれた民衆芸術運動が再び芽を出したのだ。そのサークル文化運動も弾圧や資本への回収によって衰退していくのだが、民衆が芸術を創り出すことの経験と可能性は、1960年代のカウンター・カルチャー、1980年代のパンク・ロック/グラフィティ、2000年代のフリー・カルチャーに受け継がれている。新自由主義の限界が露呈し貧富の格差が拡大し続ける現在、「サークル文化運動」という民衆芸術としての果実を咀嚼し、私たちの中の民衆を取り戻す。

スピーカー：池上善彦(元『現代思想』編集長) 松本麻里(文工研 neo)

第二回レクチャー「あらゆるアートは共謀/狂暴である」 反政府プロパガンダを共謀する!



日時：2017年4月1日(土) 19:00~21:00
場所：素人の乱 12号店 | 自由芸術大学
杉並区高円寺北3丁目8-1 2 フデノビル 2F
資料代：500円+投げ銭(ワンドリンクオーダー)

国会で上程が予定されている共謀罪(政府は「テロ等準備罪」と言う)は、600以上の違法行為を対象に、相談や目配せだけで(実際にやろうとやるまいと)犯罪にするというとんでもない法案だ。この法案はアーティストにとってもかなりヤバイ! 共謀罪は文化弾圧でもあり、ストリートの自由を圧殺し、対抗文化を根絶やしにする。だからこそ、今あえて、共謀罪に反対するアクションを共謀し、戦時極右政権の下での反政府プロパガンダを共謀しなければならないのではないか!? 共謀罪批判のアウトラインとアート・文化運動との関りについて話します。

スピーカー：小倉利丸(『絶望のユートピア』著者)

FAU

自由芸術大学

166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-8-12 フデノビル 2F

URL <http://www.freeart-univ.org>

Facebook <https://www.facebook.com/freeartuniv/>

Twitter <https://twitter.com/freeartuniv>

素人の乱 12号店

166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-8-12 フデノビル 2F

<http://12gouten.shirouto.org/>

IRREGULAR RHYTHM ASYLUM

160-0022 東京都新宿区新宿 1-30-12-302

<http://ira.tokyo/>

自由芸術大学の講座は、主に高円寺の素人の乱 12号店、新宿1丁目のIRREGULAR RHYTHM ASYLUMで、月一回程度不定期に開催されます。